

静岡県警察からのお知らせ！

オリンピック開催間近、十分な攻撃対策を！

東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会がまもなく開催されます。今大会は、県内が会場となる競技もあり、県内企業がサイバー攻撃のターゲットとなる可能性が高まっています。

過去の攻撃事例を再確認して、想定されるサイバー攻撃に十分、備えましょう。

過去の攻撃事例

万全な対策で大会を迎えましょう！

2008年 北京オリンピック

大会期間中、1日当り1,400万回の攻撃があったとされています。

2010年 バンクーバーオリンピック

悪質サイトへの誘導メール、マルウェア添付メールによる攻撃が目立ちました。

2012年 ロンドンオリンピック

開会式当日、オリンピックパークの電源システムに40分間DoS攻撃が継続して、閉会の瞬間、秒間30万パケットのDDoS攻撃がありました。

2014年 ソチオリンピック

競技場スクリーンの改ざんやランサムウェアによる攻撃がありました。

2016年 リオデジャネイロオリンピック

大会期間中、数千万回の攻撃があり、フィッシングサイトなども乱立しました。

2018年 平昌オリンピック

オリンピックデストロイヤーというマルウェアが確認され、公式サイトなどのシステムに障害が起きました。

